

子ども主日  
説教

# 子供を受け入れる教会

<マルコの福音書10:13~16>

郭 鐘 吉 牧師 (沖縄教会)



今日の本文で弟子たちは、子供たちがイエスの所に行くことを止めた。弟子たちのこの行動はイエスの機嫌を損ねた。イエスは子供たちが来ることを止めてはいけないと語られ、そして子供のように天国を受け入れる者でなければ、決してそこに入ることはできないと語られた。イエスはどのように子供たちを受け入れられたのだろうか?

## 1. イエスご自身が、子供の姿でこの地に来られたように子供たちを受け入れられた。

創造主であり、王の王であるイエスは、目の高さを低くされ子供の姿でこの世に来られた。これは子供たちを受け入れるという尊い意味を私たちに見せてくださる。また、子供たちは大人のことをなかなか理解できない、ということを知つておられるということだ。

わたしたちは、カエルがオタマジャクシの頃を忘れる、という言葉があるように、自分自身の幼い頃を忘れ、子供たちにとんでもなく厳しい基準を要求する時がある。そもそも子供は完全ではなく、成熟した人格を持ってない存在ではないだろうか。失敗したり、間違いを数えきれないほど繰り返し、合理的なことが通じない時期であり、大人たちが思うようには出来ず、時間をかけて理解し、待ってあげなければならぬ。生まれたばかりの動物の子が直ぐに歩いたり、走ったりすることができないように、子供がお母さんという言葉をはつきり言えるまで、何回も繰り返さなければならない。また転んでも何度も繰り返しき起きあがりながら成長するのが子供の時期である。このようにイエスも弱い時期、未熟な時期を経験されたゆえに、子供たちを受け入れられた。わたしたちがイエスのように子供たちを受け入れる信徒と教会であることを願う。

## 2. イエスは御言葉で祝福しながら子供たちを受け入れられた。(16節)

イエスは、天国を子供のように受け入れる者でなければ、決して天国に入ることは出来ないと語られた。わたしは幼い頃から人の悪口をよく聞く環境で育てられ、自分も悪口を良く言つたりした。悪口が上手であれば喧嘩にも有利であった。しかし、御言葉を受け入れ信仰生活を始めた小学校6年生の時から、わたしの口は悪口を言わなくなつた。子供たちはス

ポンジと同じであつて、祝福の言葉をたくさん聞くほど祝福をうけ、その祝福を享受することが出来る人になる。

イエスは「また誰でもこのような子供ひとりを私の名のゆえに受け入れる者は、わたしをうけいれるのです。しかし、わたしを信じるこの小さい者たちのひとりにでもつまづきを与えるような者は大きい石臼を首にかけられて湖の深みでおぼれ死んだほうがましです」と厳しく警戒された(マタイの福音書18:5-6)。

自分の子供をあたかも自分のものであるかのように考え、ぞんざいに扱つたことが、誰にでもあるだろう。子供の方が自分を怒らせたと言い、短刀で突き刺すような言葉で傷つけたり、怖い目でにらみ、脅したものがあるならば、それを悔い改めなければならない。そして、正しい両親の姿とクリスチヤンの姿を見せられなかつたことも悔い改めるべきである。「問題のある子供はないが、問題がある両親はいる」という言葉があるように、子供たちには祝福の言葉、希望の言葉、慰めの言葉をかけ、受け入れよう。

## 3. イエスは口ではなく迅速な行動で受け入れる。(16節)

聖書にはイエスは子供を抱いて祝福されたと書かかれている。一人だけではなくそこにいたすべての子供たちを、ひとりずつ抱いて祝福された。我々大人たちは、いったん言葉で子供たちを静かにさせ、そして「後で」「今度ね」という言葉を無意識によく言っている。しかしイエスは「後で来なさい。その時に抱いて祝福してあげます」とは話されなかつた。その時弟子たちは「後で来なさい。今イエス様は忙しいんだ」と言ったが、聖書の今日の本文ではイエスは弟子たちを「叱った」と書いてある(14節)。イエスは弟子たちのそのような行動をご覧になると、すぐに弟子たちを叱り、また、すぐに子供たちを抱いて祝福された。子供たちを厄介な存在、また邪魔者として扱われなかつた。

最近韓国では、食堂に子供たちを連れてくる家族を受け入れないところもあるという。実際教会に子供たちが来ると、子供たちが教会の中を汚したり、落書きをしたり、物を壊すということが多くある。しかし教会が、イエスが子供たちを祝福され受け入れられたように、その地域の子供たちが自由に来られる空間として門を開き、子供たちと視線を合わせ、誰でもが来たくなる空間となることを切に願う。

**在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。**



東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。

10名様～200名様の会議及び宿泊研修(50名)も可能。

◆スペースYホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。

◆韓国文化教室(チャング・カヤグム・舞踊) ◆韓国語講座

◆YMCA東京日本語学校(3ヶ月～2年、短期研修)

関西◆ほんご教室(新規開講・募集中) ◆韓国民俗芸術科(舞踊・チャング)

税込	平日	休日
シングル	¥6,700	¥6,200
ツイン	¥10,500	¥9,800
トリプル	¥13,500	¥12,600
※朝食¥200(宿泊者価格)		

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/> \*会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。

東京韓国YMCAアジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-5-5 ☎03-3233-0611

関西韓国YMCAアジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 ☎06-6981-0782

関東地方会

## 第69回定期総会を開催 宣教師加入式と牧師按手式も行う

関東地方会第69回定期総会が2018年4月30日、東京希望キリスト教会にて、総代97名中、74名が参加して開催された。開会礼拝は張慶泰会長の司会により、李鉉允牧師（慶北老会長）から「戦いの定石」（サムエル上17:41～47）と題して説教があつたのち、金秉喆牧師の司式のもと聖餐式が執り行われた。

議事では各種報告があつた後、各教会の長老増員請願が承認された（東京第一教会1名、横浜教会1名、川崎教会1名、ハンサラン教会2名）。新年度予算は21,379,638円（その内14,232,000円は総会分担金）が承認された。

また、開会礼拝では孫晩碩牧師（東京希望キリスト教会）の宣教師加入式、金秀明牧師（東京第一教会）の按手式が執り行われた。



関西地方会

## 第69回定期大会を開催 各教会长老増員や予算案など承認

去る5月4日（金）大阪北部教会にて、第69回関西地方会定期総会が開かれた。総会は総代77名中72名の出席で成会となった。開会礼拝は金道栄副地方会長の司会により進められ、金必順牧師により「『互い』を基礎に」（ガラテヤ書6:2）という題目で説教がなされた。献金は京都南部教会の東九条こども食堂の働きのために捧げられた。

朴成均地方会長の司式による聖餐式の後、李承厚牧師、趙原徹牧師の宣教師加入式および襄貞愛牧師（京都教会副牧師）の按手式が挙行された。

日本キリスト教会近畿中会議長である有賀文彦牧師、総会長金鐘賢牧師、西部地方会長韓世一牧師による挨拶ののち、議事が討議され、決議された。主な内容は各教会による長老増員請願（京都2、京都南部1、大阪北部3、大阪3）、予算の承認であった。



西南地方会

## 第68回定期大会を開催 予算案、2教会の長老増員承認

西南地方会第68回定期総会が2018年4月30日(月)、総代24名中、23名が参加して福岡教会で行われた。

副会長 金瑪璃長老の司会、地方会長の李恵蘭牧師の説教、副会長の金仁果牧師の聖餐式の司式の下で開会礼拝が進行された。

総会より金柄鎬総幹事、韓国の京畿老会より馬斗樂老会長外9名、日本基督教団九州教区より日下部遺志副議長、新堀真之書記、日本キリスト教会九州中会より澤正幸議長、金泰

中部地方会

## 第55回定期大会を開催 開会礼拝で宣教師加入式も行う

2018年5月3日、名古屋南教会にて中部地方会第55回定期総会が開催された。

開会礼拝は、副会長崔光一長老の司会で行われ、地方会長の崔和植牧師が「恵が溢れる中部地方会」（ルカ4:31～44）という題で説教された後、大韓イエス教長老会（大神）から派遣された蔡銀淑牧師の宣教師加入式と聖餐式が行われた。

会議には総代員29名中27名が出席し、総会長の金鐘賢牧師、日本基督教団中部教区総会議長の横山良樹牧師が来賓の挨拶を行った。各種報告の後、各教会からの長老選出や増員請願の承認（名古屋教会2名、岐阜教会1名）の外、未自立教会に対する宣教費補助、金智一牧師の無任所牧師延長と洪領晃牧師の引退、5,233,555円の2018年度の予算案が承認された。



西部地方会

## 第34回定期大会を開催 予算案、臨時堂会長など承認

2018年4月30日（月・祝）、神戸東部教会にて西部地方会第34回定期総会が開催された。開会礼拝は、地方会長の韓世一牧師が「主のために造られた民」（イザヤ43:18～21）という題の説教後、韓承哲牧師の司式により聖餐式が執り行われた。

そして、全総代38名中31名の出席により開会宣言がなされた。引き続き、書記によって召天者の名簿が読まれ、金永柱牧師が祈りを挙げた。また、来賓の紹介（総会から金柄鎬総幹事・関西地方会から朴成均会長・日本基督教団兵庫教区から東島勇人副議長）があり、それぞれの来賓から祝辞が述べられた。

主な決議事項は2018年度予算案（11,813,129円）審議の通過、臨時堂会長の承認、次回定期総会の日程と会場選定の決議であった。

（報告：中江洋一）



仁伝道師・李炳斗宣教師、日本基督教団西中国教区より小畠太作議長が来賓として来られた。

各種報告の後、福岡教会が請願した長老2名の選出と小倉教会が請願した長老1名選出が承認された。引き続き予算案6,000,821円が承認されてから閉会された。



## 第1回常任委員会開催 張在亨牧師らに関する立場を表明

去る2018年4月10日、京都南部教会にて第54回総会期の初めの常任委員会が開催され、常任委員24名中23名が出席して各種報告や案件審議を行った。

主な決議事項は次の通りである。

- (1) 第54回定期総会で承認できなかった2017年度の決算と2018年度の予算案の承認。
- (2) 財政委員会の負担金規定案承認。
- (3) 日本キリスト教協議会（NCCJ）総幹事に就任された金性済牧師を総会の機関牧師としての位置付け、また所属は中部地方会であることを確認と承認。
- (4) 在日韓国人問題研究所（RAIK）所長の佐藤信行氏の定年



## 金勝正長老の将立式挙行 在日3世長老として教会奉仕に期待



2018年4月22日、恵みの中で豊橋教会において金勝正長老将立式が行われた。鄭守煥牧師（豊橋教会）の司会で礼拝が始まり、趙尚浩牧師（愛隣伝道所）が「Ⅱコリント5：9」（主に喜ばれる者）という題で説教した後、崔和植牧師（長野教会）の司式で長老将立式が行われた。将立式の勧めの言葉は、李珍容牧師（豊田めぐみ伝道所）と権潤日牧師（浜松教会）が、祝辞は全炳玉牧師が、祝祷は鄭守煥牧師が行い、神様の恵みに満たされた将立式であった。

金勝正長老は、韓国慶尚南道に本籍を置き、1960年1月8日生まれ、1960年に幼児洗礼を授かり、2011年1月に執事に任命された。



## 2長老の将立式挙行 教会創立97周年記念式と併せて



大阪教会は、去る2018年5月13日（主日）に教会創立97周年を迎えて記念式を行い、梁陽日・鄭光男長老の将立、張信英、金玉京名誉長老推戴、金寿美、金玉蓮名誉勸士推戴ほか、9人の名誉執事推戴式を盛大に行なった。

堂会長の鄭然元牧師の司会のもと、姉妹教会である鷺津教会の余冲鎬牧師の「キリスト者の従順」（創22：1～4）という題の説教があった。

長老将立式では、関西地方会長の朴成均牧師による長老誓約、按手祈祷、宣布がなされ、名誉推戴は堂会長の鄭然元牧師が宣布された。今回の行事に、韓国の姉妹教会である鷺津教会から、また釜山楊亭教会から大勢の方々がお祝いに訪れ、式典を盛り上げた。

今回将立された梁陽日長老（1967年生）と鄭光男長老（1963年生）は日本で生まれた在日3世で、大阪教会の故・金徳成牧師から洗礼を受け、二人とも全国青年協議会の会長を歴任した。

大阪教会だけではなく関西地方会や総会にも多く用いられることを期待する。

退職に伴う隠退金の補助を承認。

- (5) クリストゥスなど張在亨牧師グループに関する日本基督教団総会議長の声明文（2018年1月27日付け、『教団新報』第4875号に掲載）を参考にし、総会の立場を表明することにした。
- (6) 各地方会の無任所牧師に関しては、所属地方会が管理し処理することにし、牧師名簿を整理することにした。
- (7) 日立教会の解散を承認し、総会名義の土地に関しては総幹事と関東地方会が検討することにした。
- (8) 「天皇の退位及び即位の行事に関する政教分離についての要望書」に関しては総会名にて要望書を提出することを承認。
- (9) 今年、「濟州島4.3事件」70周年を迎えるにあたり、現地研修を行うことを計画しているが、詳細については社会委員会に委ねることを承認する。
- (10) 次回の常任委員会は2018年10月16日（火）11：00、大阪KCCで行うこととした。



## 金誠淑長老の将立式挙行 1997年執事任命以来多大に奉仕



去る2018年5月20日の聖霊降臨主日、名古屋教会で金誠淑長老将立式が中部地方会の諸教会から大勢の信徒が集い盛大に行なわれた。

臨時堂会長の鄭守煥牧師の司会のもとに開会された礼拝には、中部地方会長の崔和植牧師が、「神さまの恵み」（コリント15：10）という題の説教をされ、引き続き長老将立に対する誓約、按手、宣布などがなされた。

この度、将立された金誠淑長老は、1955年韓国で生まれ、1997年から名古屋教会の執事として、2014年から勸士として奉仕した。



## 崔允聖長老の将立式挙行 名誉勸士、名誉執事推戴式も同時に



2018年5月20日（聖霊降臨節）、福岡教会において崔允聖長老将立式及び、李玉己名誉勸士、沈珠澤名誉執事推戴式が行なわれた。

9年ぶりに行われる将立式には、堂会長の金仁果牧師の司会により、朱文洪牧師の「もっと大きな賜物」（コリントI12：26～31）という題目の説教がされ、西南地方会長の李惠蘭牧師の司式のもと崔允聖長老に対する按手式が進行された。将立式には西南地方会の諸教会、日本キリスト教會、韓国の洪城教会から大勢の参加者が集い、将立式と推戴式を祝った。

このたび、将立された崔允聖長老は1963年韓国で生まれ、留学生として来日して以来、東京、札幌、沖縄での生活を経て、2002年から福岡教会にて按手執事として奉仕して来られた。

### 女性のための電話相談

DVや子どもの問題など  
ひとりで苦しんでいませんか  
話すことは解決への第一歩…



06-6731-1616

（電話受付）第1・3・5週土曜日 正午12時～午後4時  
日本語 第1・3・5土曜日 韓国語 第1・3土曜日

名古屋教会

## 黄義生牧師が召天 総会長を歴任、32年間名古屋教会奉仕



2018年5月11日、名古屋教会の黄義生名誉牧師が天に召され、名古屋教会の新井由貴牧師の司式のもと葬儀が行われた(享年85歳)。

故・黄義生牧師は1932年日本で生まれ、同志社大学神学部、東京神学大学院を卒業後カナダのトロント大学ノックスカレッジに留学した。1960年に牧師按手を受け、10年間の西新井教会の牧会を経て、1970年から隠退される2002年まで32年間、名古屋を牧会した。また中部地方会長および、第36回期総会長などを歴任した。

日本で生まれた在日二世として教会や地方会、総会に仕え、また社会福祉法人としての永信保育園と老人ホーム永生苑を設立し、名古屋教会を地域社会に仕える教会へと発展させた。その貢献が認められ、2000年にはカナダ・マギル大学神学大学から名誉博士号を授与された。

### 全国教会祈祷カレンダー

\*宣教委員会は今年、毎主日に全国の各教会のために祈りをささげる祈祷カレンダーを製作しました。共に祈りで結ばれましょう。祈った後は、その旨を伝えましょう。

青年会全協

## 西部青年会と親睦会

### 西部連の定期総会の後、全協役員ら

2018年4月8日(主)武庫川教会にて、西部地方青年連合会と青年会全国協議会が共催した親睦会が行われた。

15名の青年が集まり、韓承哲牧師の開会礼拝から始まった西部連の定期総会の後、武庫川教会の女性会の方々の素晴らしい手料理と青年たちが楽しんで作ったたこ焼きで親睦会が持たれ、和気あいあいとした雰囲気の素晴らしい時間となった。交流ゲームや尹美佳姉妹(神戸教会)のピアノと黄利富兄弟(武庫川教会)のギターの伴奏での賛美も、青年たちの心を一つにした。  
**(報告者:吳眞雅)**



### <朴憲郁牧師住所変更のお知らせ>

〒193-0803 東京都八王子市橋原町1811-1 Tel/Fax: 042-686-3888  
e-mail: hwpark1@wine.plala.or.jp

### 6月に全国教会が祈祷する教会

- ・3日: 愛隣教会(趙尚浩牧師)
- ・10日: 岐阜教会(高誠牧師)、大垣教会(蔡銀淑牧師)
- ・17日: 四日市教会(休止中)、新儀教会(崔炳釤牧師)
- ・24日: 京都教会(林明基牧師)、京都南部教会(許伯基牧師)

**在日大韓基督教会宣教委員会**

### <第18回 日・韓・在日国際シンポジウム参加記>

## 「人種差別は非人間的」共同声明書を採択

さる4月16日から18日まで、ソウル、韓国キリスト教会館で第18回日・韓・在日国際シンポジウムが、日本キリスト教協議会と韓国キリスト教教会協議会、そして「外国人住民基本法」の制定を求める全国キリスト教連絡協議会の主管で、4年ぶりに開催された。

特に、今回のシンポジウムでは両国のカトリック教会も参加し、共に移住民問題について討論し、今後の方向性を模索する機会を持つことができた。

一日目は、ナソム教会のモンゴル学校、大韓聖公会が運営する南楊州市外国人福祉センター、チョンスクジャ牧師の移住女性教会を見学した。日本と違って政府の支援を受けて様々な活動をしている施設を見て、日本側参加者たちはうらやましく思った。

二日目は、両国それぞれ4人の基調報告を通じ、現在の各国の移住民の実態と教会の対応策について話を聞き、4人の発題者を通じ今後の課題と教会の役割について深く議論する時間を持った。

三日目には「人種差別は、非人間的な犯罪であり、罪悪だ」という共同声明書を採択後、日本側参加者たちは、慰安婦水曜集会に参加し、日本軍性奴隸制問題解決に日本政府が介入することを促した。  
**(報告:申容燮牧師)**



## 在日大韓基督教会 宣教110周年 記念大会・合同修養会案内

**日時:2018年8月12日(主日)19:00~15日(水)12:00**

**場所:在日本韩国YMCA(東京都千代田区猿楽町2-5-5, Tel:03-3233-0611)**

- 標語:「共に生きるいのちの天幕を広げよう」
- 宣教課題:①多様な肢を包む教会

- ②幼く若いいのちと共に成長する教会
- ③福音と公正な秩序に立つ教会
- ④和解と共生平和をめざす教会

- 内容:開会礼拝、主題講演、宣教110周年記念大会、特別講演、讃美と証し、夕礼拝、分団討議、青年会の集い、女性会の集い、青年会(男性)の集い、教役者の集い、その他

- 宿泊:各自、各教会別に予約
- 参加費:1人5,000円(4回食事代)

- 参加申請:各地方会書記  
(200名:関東80名、中部25名、関西50名、西部25名、西南20名)

- 参加申請:2018年6月30日まで

※YMCAに宿泊希望の方は総会事務局にお申込みください。